

国際協力の現場を語る！

理解し、
行動する

セントルシア、モンゴル、チュニジア、ミクロネシア、ガーナから



2013,10,19(土)、20(日)横浜市海岸通り
象の鼻パーク No. 138 ブースにて

写真や映像の展示、何でも相談会、クイズや外国コインの配布もあります



モンゴル

チュニジア

セントルシア

ガーナ

ミクロネシア



2013,10,19(土)および20(日):11:00,12:00,13:00,14:00,15:00に
シニアボランティア経験者が各々30分話します

セントルシアの貧困撲滅
極寒と草原の国モンゴル
エキゾチックな国チュニジア
太陽がいっぱいミクロネシア
神様の贈り物、ガーナの潤いシアナッツ

野口丞治
横溝清子
村野文男
古賀伸二
肥後照雄

シニアボランティア経験を活かす会

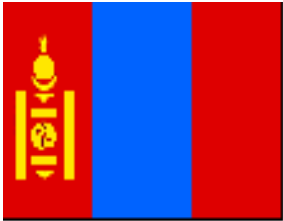
シニアの挑戦

セントルシア



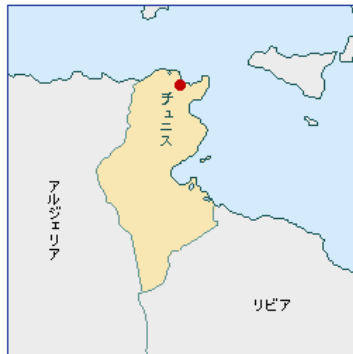
統計によるとセントルシアの国の24%の人々が1日2ドル以下で暮しています。世銀の貧困撲滅基金により貧困層が暮らす部落の生活環境改善の工事が行われました

モンゴル



遊牧民の子ども達は学齢になると、親元を離れて学校の寮に入るか、親戚の家に預けられ学校へ通なければなりません。子供達は頑張っています

チュニジア



降雨量が少ないチュニジアにあっては、とりわけ貴重な水資源を有害物汚染から守るための水処理技術の開発に取組みました

ミクロネシア



ミクロネシア初めての大型太陽光発電システムを設置。技術者(パイオニア達)の養成を行い、電気事情の改善に貢献しました

ガーナ



ガーナ北部の村落ではシアの木の実からシアバターを作り販売し、生活の糧にします。その油脂シアバターはガーナ女性たちの肌を強い日差しや肌の乾燥から守っています。その活動の支援しました